

けんしん同友会「大分市内合同講演会」

演題：「one team OITA」の実現に向けて

日時：令和6年2月13日（火）17:10～18:10

場所：ホテル日航大分オアシスタワー3階 紅梅の間

one
オール市民でまちを創る
team
ワンチーム
おおいた
OITA

世代も性別も職種もこえて
みんなのチカラをひとつに。
理想のまちがこれからはじまる。

大分市長 足立 信也

大分市長プロフィール



足立信也(あだち しんや)

生年月日 1957年(昭和32年)年6月5日
出身地 大分市上戸次
趣味 スポーツ観戦
座右の銘 紅蓮(Warm Heart Cool Head)

学歴

1976年(昭和51年) 大分県立大分舞鶴高等学校 卒業
1982年(昭和57年) 筑波大学医学専門学群 卒業
1990年(平成 2年) 医学博士(筑波大学)

職歴

1982年(昭和57年) 筑波大学附属病院医員(研修医)
1984年(昭和59年) 筑波大学附属病院医員
1988年(昭和63年) きぬ医師会病院外科診療科長
1994年(平成 6年) 筑波大学臨床医学系外科講師
2003年(平成15年) 筑波大学臨床医学系外科助教授
2003年(平成15年) 国立霞ヶ浦病院消化器科医長
2004年(平成16年) 筑波メディカルセンター病院診療部長
2004年(平成16年) 第20回参議院議員選挙(大分県選挙区)で初当選
2009年(平成21年) 厚生労働大臣政務官
2010年(平成22年) 第22回参議院議員選挙(大分県選挙区)で2期目当選
2011年(平成23年) 筑波大学客員教授
2016年(平成28年) 第24回参議院議員選挙(大分県選挙区)で3期目当選
2022年(令和 4年) 一般社団法人 新時代戦略研究所 研究顧問
2023年(令和 5年) 大分大学客員教授
2023年(令和 5年) 大分市長就任

人生で影響を受けた言葉

「君達は大変困難な道を選択した。
一生勉強し続けなければならない。」

【榊原 仟（さかきばら しげる） 筑波大学 副学長】

「10年後に当たり前になる治療を研究しなさい」

【岩崎 洋治（いわさき ようじ） 筑波大学 教授】

「Creative mind and judicious mind」

【江崎 玲於奈（えさき れおな） 筑波大学 学長】

※ 1973年（昭和48年）ノーベル物理学賞を受賞（「半導体内におけるトンネル現象に関する実験的発見」）

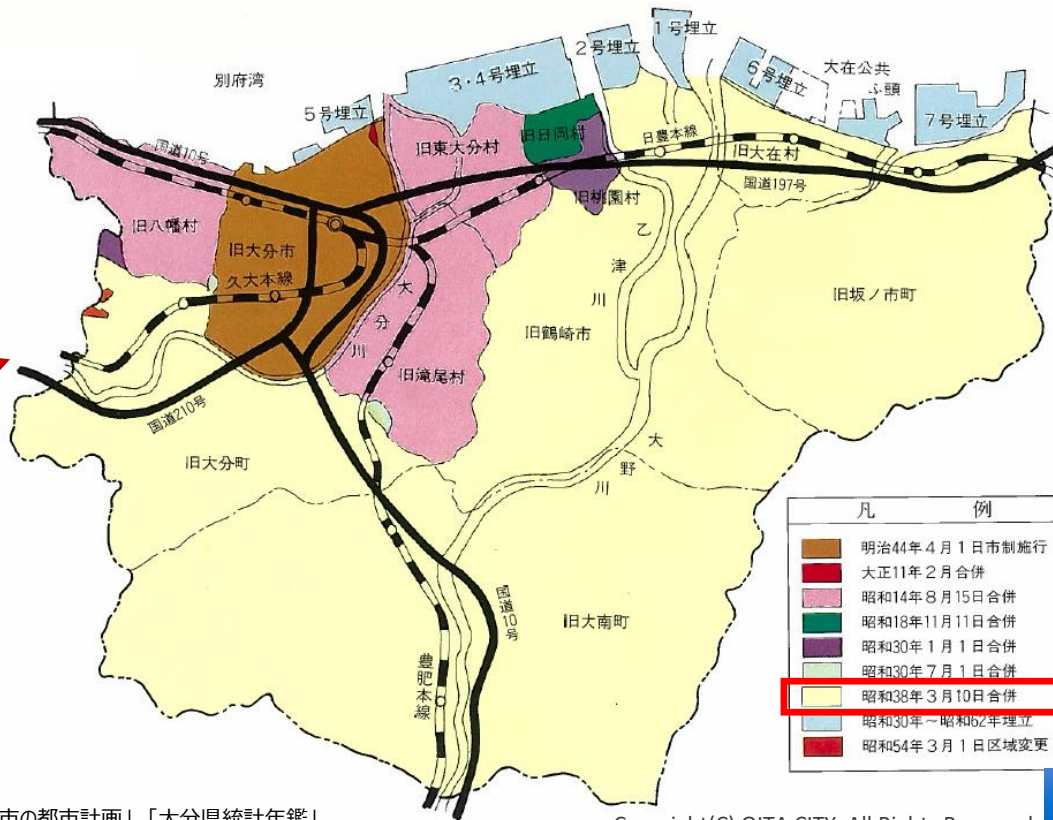
市域（面積）の変遷

2005年(平成17年) **501.10** km² ※全国62中核市のうち21番目の広さ(中核市平均403.49km²) 2023年2月時点

1963年(昭和38年) **343.82** km²

1962年(昭和37年) **64.23** km²

1911年(明治44年) **20.17** km²



凡	例
茶色	明治44年4月1日市制施行
赤	大正11年2月合併
桃色	昭和14年8月15日合併
緑	昭和18年11月11日合併
紫	昭和30年1月1日合併
黄緑	昭和30年7月1日合併
黄	昭和38年3月10日合併
青	昭和30年～昭和62年埋立
赤	昭和54年3月1日区域変更



※出所：「大分市統計年鑑」、「中核市都市要覧（令和4年度）」、「大分市の都市計画」、「大分県統計年鑑」

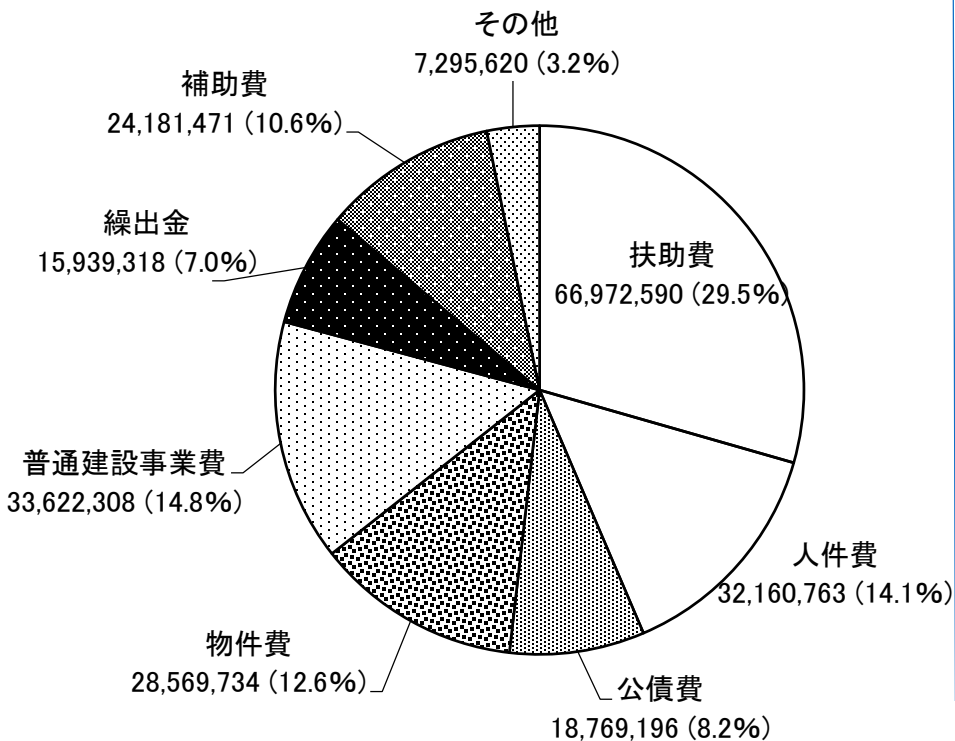
大分市の財政の状況

※一般会計における性質別歳出

令和5年度

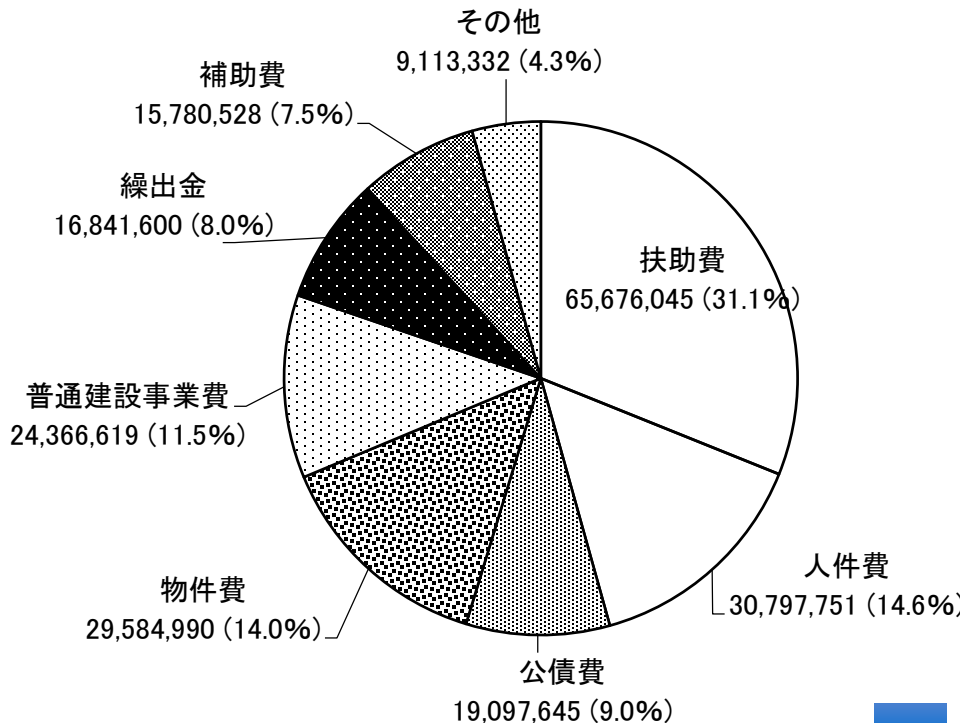
歳出予算額 227,511,000千円

※12月追加補正までを含む



令和4年度

歳出決算額 211,258,510千円



県内の人口の状況

・令和5年10月1日現在の人口

1,096,235人

・1年(R4.10~R5.9)で

-10,066人の減少

内訳として

自然増減 -10,432人
(全市町村で減少)

社会増減 +366人
(8市1町で増加)

市町村	R4.10月~R5.9月人口動態				
	R4.10 人口	R5.10 人口	人口増減	自然増減 (出生-死亡)	社会増減 (転入-転出)
県合計	1,106,301	1,096,235	-10,066	-10,432	366
大分市	474,323	472,606	-1,717	-2,070	353
別府市	114,018	113,373	-645	-1,238	593
中津市	82,237	81,723	-514	-651	137
日田市	60,770	59,862	-908	-737	-171
佐伯市	64,463	63,045	-1,418	-1,044	-374
臼杵市	34,627	34,174	-453	-519	66
津久見市	15,218	14,706	-512	-330	-182
竹田市	19,362	18,845	-517	-389	-128
豊後高田市	21,839	21,655	-184	-292	108
杵築市	26,946	26,347	-599	-401	-198
宇佐市	51,219	50,661	-558	-721	163
豊後大野市	32,485	31,780	-705	-646	-59
由布市	32,414	32,287	-127	-256	129
国東市	25,279	24,827	-452	-508	56
姫島村	1,603	1,552	-51	-31	-20
日出町	27,484	27,359	-125	-201	76
九重町	8,191	7,952	-239	-166	-73
玖珠町	13,823	13,481	-342	-232	-110

大分市の人口の状況

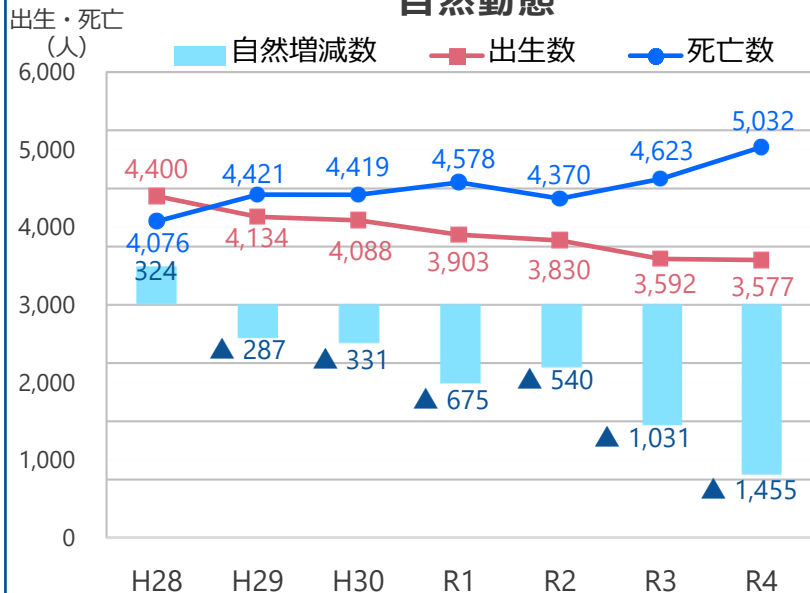
※出典：「大分県の人口推計」

大分市の人口 **472,606**人(令和5年10月1日現在) ※全国62中核市のうち10番目の人口規模

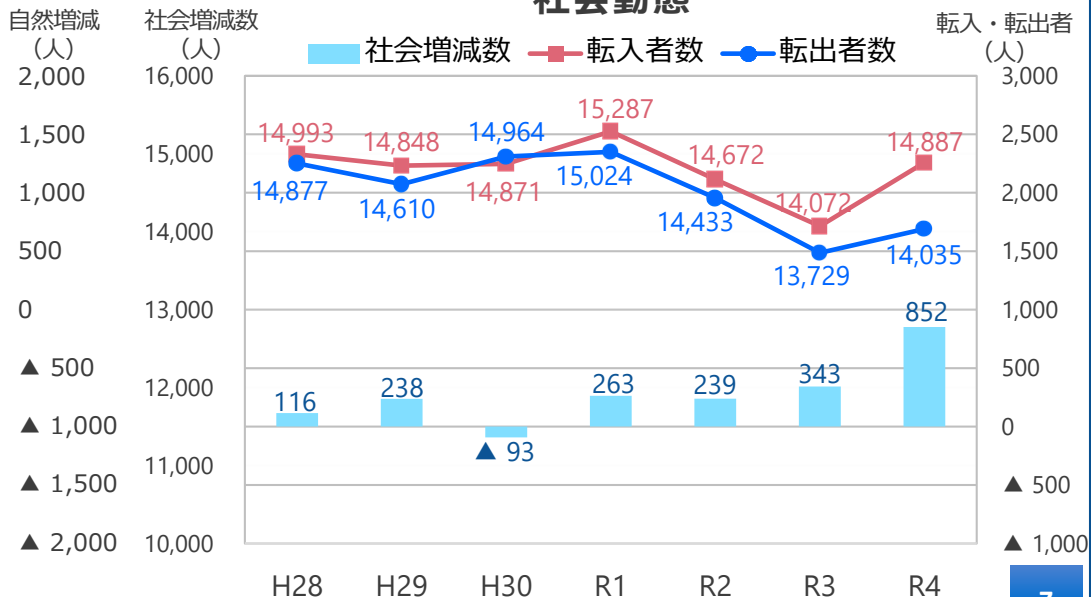
前年同月比 **-1,717**人(自然動態 -2,070人、社会動態 +353人)

出典：大分県「大分県の人口推計報告 令和4年版」※各年10月1日時点

自然動態



社会動態

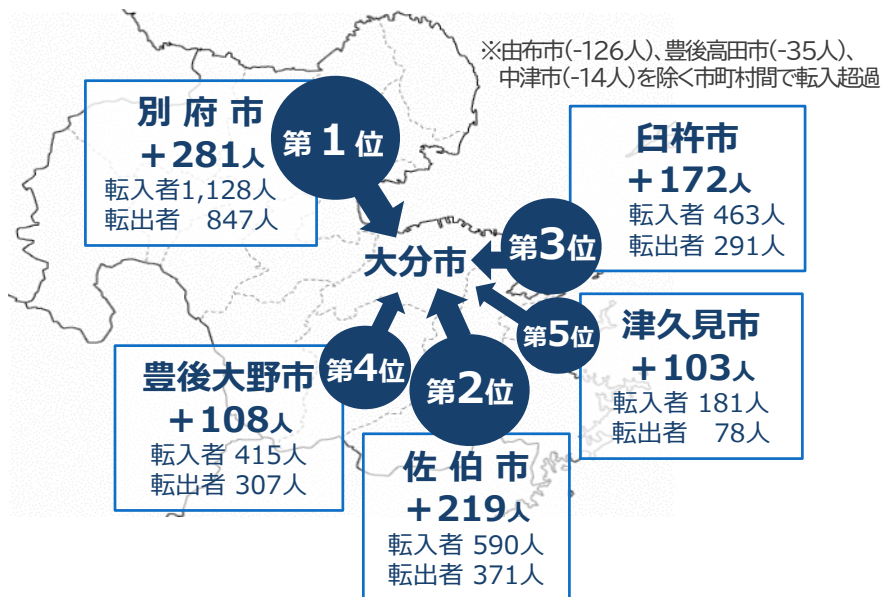


大分市の人口の移動状況

資料：大分県「大分県の人口推計報告 令和4年版」

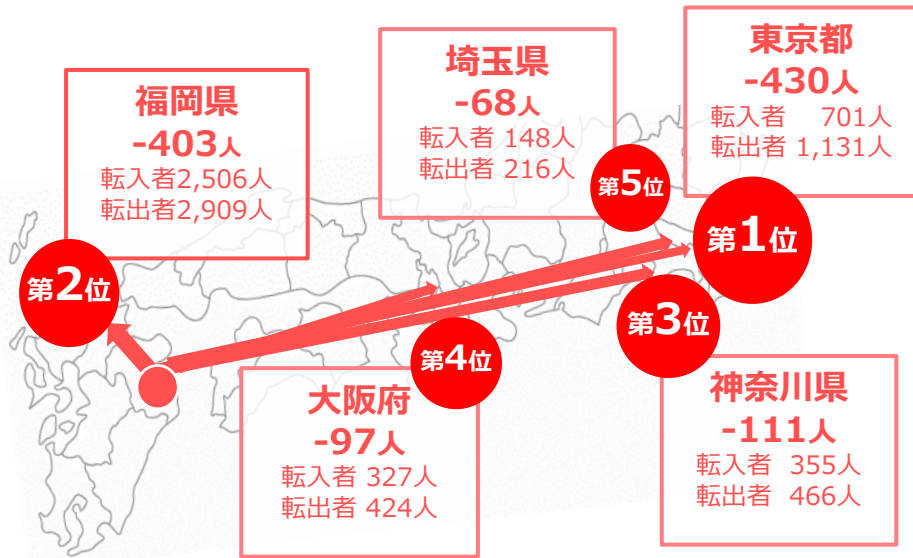
県内の人口移動

+1,100人の転入超過
(男性:+529人、女性:+571人)



県外の人口移動

-261人の転出超過
(男性:-108人、女性:-153人)



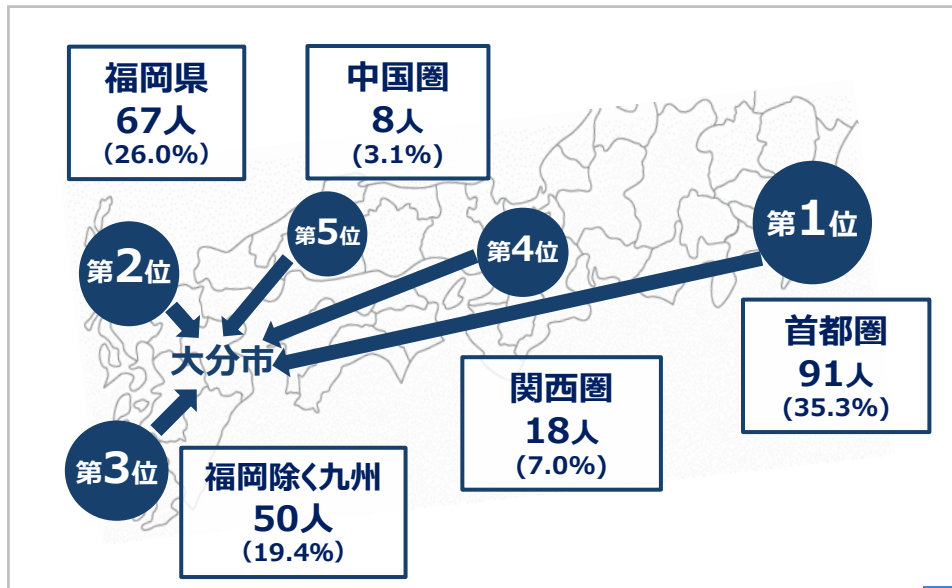
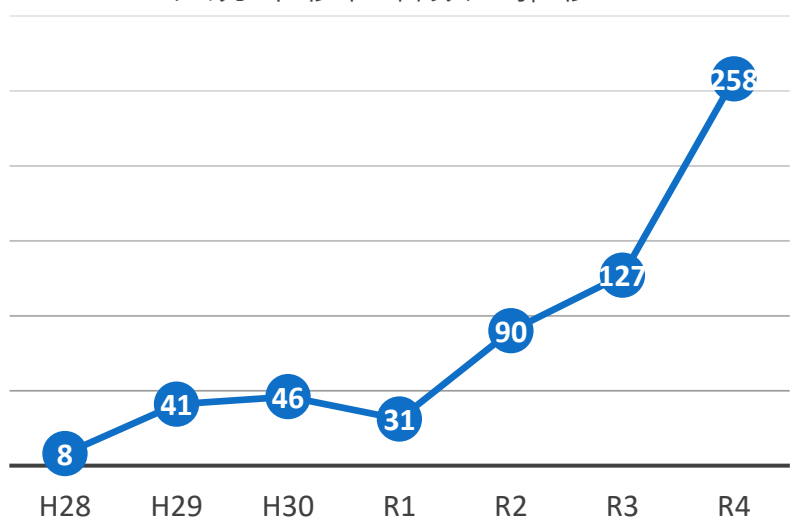
※ 前住地または転出先が不明の者 13人(転入者:38人、転出者:25人)を含まない。

大分市への移住者の状況

過去最高の **258**人(男性:127人、女性:128人、不明:3人)で県内市町村 **1**位

首都圏からが **35%**超、30歳代以下が 約**70%**、子育て世帯が 約**35%**

大分市移住者数の推移



大分市の生産年齢人口の推移

資料：総務省統計局「国勢調査」

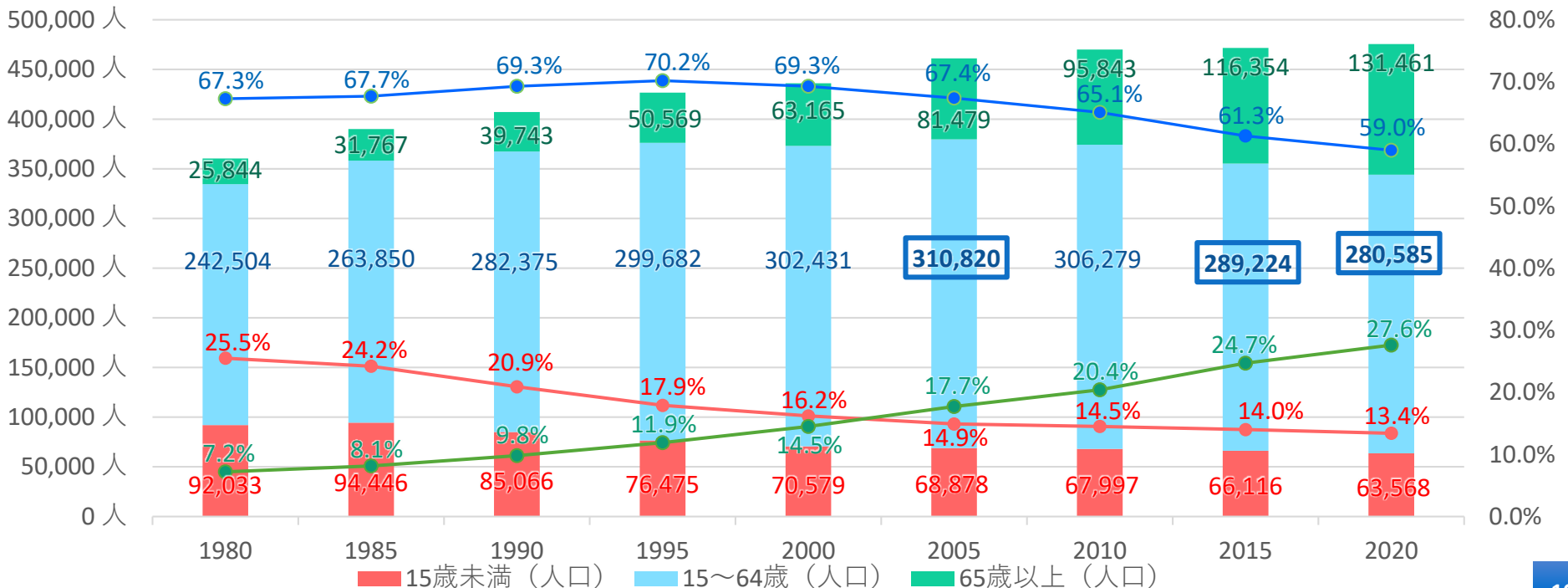
15～64歳(生産年齢人口)の減少数

- ① 280,585人(2020年) - 310,820人(2005年) = **-30,235人**
- ② 280,585人(2020年) - 289,224人(2015年) = **-8,639人**

年齢3区分別人口

年齢3区分別人口の推移

年齢3区分別人口割合



大分の景気の動向

◆県内の景気動向：緩やかに回復している

(日本銀行大分支店 2024年1月発表分)

◆市内の有効求人倍率：1.85倍 ※1.41倍(大分県) 1.22倍(九州) 1.27倍(全国)

(大分労働局 令和6年1月30日発表分)

◆県内の正社員有効求人倍率：1.38倍 ※1.00倍(全国)

(大分労働局 令和6年1月30日発表分)

◆市内の消費者物価指数：105.2 ※106.8(全国)、R2を100とする

(大分県 令和5年12月分)

◆県内の完全失業率：2.0% ※2.4%(全国)

(大分労働局 令和6年1月30日発表分)

◆市内の倒産件数：28件 ※前年比+13件、県内は56件(前年比+11件)

(東京商工リサーチ大分支店 2023年)

「ひとが真ん中。」

ひとを守る

自然災害や感染症などのリスクをあらゆる角度から想定し、被害を最小限に抑え、市民の生命と財産を守ります。

ひとを育む

妊娠・出産・子育てから大学などの高等教育まで切れ目のない支援で、誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境をつくりま

ひとを支える

少子高齢化による地域コミュニティの衰退などに備え、誰もが役割を持ち、お互いに支え合い、自分らしく輝ける社会の実現をめざします。

ひとを豊かに

市民生活の向上と心豊かな暮らしを実現します。また、このまちを次世代へ引き継ぐため、持続可能なまちづくりを進めます。

ひとを元気に

人とまちが元気に輝き続けられるよう、新たな魅力が生まれるまちづくりを進めます。

少子化対策を最優先

少子化が進行すると・・・

- ・地域コミュニティの弱体化
- ・社会保障制度の疲弊
- ・地域経済の縮小
- ・労働力の不足
- ・市の財政の硬直化

・・・など社会や経済に多大な影響

ひとを育む

妊娠・出産・子育てから高等教育まで切れ目のない支援の充実

◆保育所等のおむつ処分

保護者や保育士の負担軽減を図るため、**令和5年10月**から使用済みのおむつを公立ならびに私立認可**保育所等で処分**できるように、必要な備品の購入や処分業務への支援を実施



◆大分市にこここ保育支援事業の実施

保護者の経済的負担の軽減と子育ての環境整備のため、**R6年度**から**認可外**保育施設を利用する保育の必要性がある**第2子以降の0、1、2歳児**の保育料を**無償化**（上限3万5千円）**予定**（R5年度：システム開発等）

※認可保育施設における第2子以降の3歳未満児の保育料は令和元年10月から完全無償化



◆中学生の学校給食費の無償化

食費や教育費等がかさむ中学生の子どもがいる子育て世帯の支援のため、**市立中学校**に在籍する生徒の**学校給食費**を**令和6年1月**提供分から**無償化**

※R5年度における保護者等の負担軽減額見込み：約1億6,400万円（減収となる学校給食費分）



妊娠・出産・子育てから高等教育まで切れ目のない支援の充実

◆子ども医療費助成の拡充

R6年度から助成の対象を公的支援が少ない**高校生まで拡充**予定(R5年度:システム改修等)

※拡充後のイメージ

対象者	R6年3月診療分まで	
	対象医療費	自己負担
未就学児	入院・通院 歯科・調剤	なし
小・中学生	入院・通院	なし
	通院・歯科	【市町村民税課税世帯】 1医療機関ごと1日500円まで(月上限4回) ※5回目以降は、一部自己負担金なし 【市町村民税非課税世帯】 なし

拡充

対象者	R6年4月診療分から	
	対象医療費	自己負担
未就学児	入院・通院 歯科・調剤	なし
小・中学生	入院・通院	なし
	通院・歯科	【市町村民税課税世帯】 1医療機関ごと1日500円まで(月上限4回) ※5回目以降は、一部自己負担金なし 【市町村民税非課税世帯】 なし
高校生等	入院・調剤	なし
	通院・歯科	1医療機関ごと1日500円まで(月上限4回) ※5回目以降は、一部自己負担金なし

◆新たな奨学資金を検討

進学を志す学生の経済的な負担軽減と修学後に大分で活躍する人材の育成・確保を目的に、**返還免除型奨学資金**の導入を検討

※外部検討委員会の開催回数:7回(令和6年2月2日時点)



ひとを守る

安全・安心な医療・防災体制

◆東九州メディカルバレー構想の発展

東九州地域において、血液・血管関連の医療機器のみならず、介護・福祉機器分野を含む**医療関連機器産業**について、研究開発促進や地場企業の育成と成長、医療技術人材の育成など**4つの拠点づくり**に取り組み、産業集積を活かした地域の活性化と医療関連分野でアジアに貢献する地域をめざす

1 研究開発の拠点づくり

〈産学官連携による研究開発の推進〉



大分大学でのニーズ探索交流会

2 医療技術人材育成の拠点づくり

〈医療技術に係る人材の育成〉



大分大学スキルラボセンター

3 血液・血管に関する医療拠点づくり

〈海外人材への透析技術の研修〉



大分大学での研修 九州保健福祉大学での実技

4 医療関連機器産業の拠点づくり

〈地場企業に対する支援〉



感染症対策に貢献する「チーム大分」

【経過】

H22.10

「東九州地域医療産業拠点構想(東九州メディカルバレー構想)」策定・公表

H23.12

地域活性化総合特別区域計画「東九州メディカルバレー構想特区」認定

H29.3

地域活性化総合特別区域計画(第2期計画)再認定

R4.3

地域活性化総合特別区域計画(第3期計画)再認定

東九州メディカルバレー構想

大分県から宮崎県に広がる東九州地域において、血液や血管に関する医療を中心に、産学官が連携を深め、医療機器産業の一層の集積と地域経済への波及、更にはこの産業集積を活かした地域活性化と、医療の分野でアジアに貢献する地域を目指します。

※出所：大分県

Copyright(C) OITA CITY. All Rights Reserved.

安全・安心な医療・防災体制

◆新型コロナワクチンの接種

高齢者などの重症化リスクが高い方のほか、接種可能な市民への接種(全額公費)を実施(R6.3.31まで)



◆消防指令業務の共同運用

これまで県下14消防本部が受付けていた119番通報を本市が一手に受付けるものであり、都道府県単位での一本化は全国初(R6年度運用開始予定)



◆戸次地区防災拠点

災害救援物資の輸送拠点と地域住民等の緊急避難場所としての機能を持つ防災拠点施設を整備(R6年度供用開始予定)



◆災害予防対策として樹木を事前伐採

台風などの自然災害に備え、倒木による道路通行の支障や長期間の停電を未然に防止するため、樹木を事前伐採



ひとを支える

物価高騰対策関連 (36事業・約59億円) ※R5年度当初～6月補正合計

◆プレミアム付商品券の発行

物価高騰の影響を受けている地域経済の回復を図るため、商品券(プレミアム率30%)を発行することで、個人消費の下支えと市内の事業者が価格転嫁しやすい環境を整備

※発行総額：40億400万円 (プレミアム分9億2,400万円を含む) 使用期間：R5.10.1～12.31

おおいた Pay



大分市プレミアム付き商品券 (第4弾)

◆交通事業者への事業継続支援

エネルギー価格等の物価高騰の影響を受けている交通事業者に対して、事業の業務効率化や省エネルギー化、人材確保等の取組を支援し、公共交通を維持するとともにアフターコロナに向けた観光を振興



交通事業者事業継続支援事業 (イメージ)

◆漁業者の活動改善等への支援

出漁経費の一部である燃油の購入費や低燃費走行につながる船底掃除等に係るメンテナンス時に使用する施設の使用料に対する支援を実施



大分市内の漁場

自分らしく輝ける社会の実現と支える体制づくり

◆パートナーシップ宣誓制度の導入

性的マイノリティの方々への理解を深め、市民一人ひとりが互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現をめざし、令和5年9月1日から制度を導入 ※宣誓件数:4件(令和6年1月末時点)



おおいたパートナーシップ宣誓制度のマーク

◆介護認定調査システムの導入

介護認定の調査や審査会において、タブレット端末及び専用ソフトの導入、ペーパーレス会議等を令和6年3月から利用開始し、業務の効率化を推進



介護認定調査システム導入（イメージ）

◆行政評価制度の再構築

行政の限られた人的・財政的な資源の中で、より効果的な外部評価の仕組みを導入するなど、現在の行政評価の手法を見直すことで、持続可能な行財政基盤を確立

※令和5年6月に庁内横断的なプロジェクトチームを新たに設置



ひとを豊かに

国内有数の「産業都市大分」 - 九州一の製造品出荷額等 -

九州 2021年～2019年 **1**位

(単位：兆円)

2021年			2020年			2019年		
順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等
1	大分市	3.18	1	大分市	2.34	1	大分市	2.77
2	北九州市	2.63	2	北九州市	2.11	2	北九州市	2.32
3	京都郡菟田町	1.20	3	京都郡菟田町	1.31	3	京都郡菟田町	1.73
4	宮若市	1.18	4	宮若市	1.20	4	宮若市	1.29
5	中津市	0.67	5	中津市	0.68	5	中津市	0.64
6	福岡市	0.62	6	福岡市	0.60	6	福岡市	0.58
7	合志市	0.54	7	長崎市	0.45	7	熊本市	0.46
8	熊本市	0.45	8	熊本市	0.43	8	都城市	0.45
9	都城市	0.44	9	都城市	0.43	9	長崎市	0.45
10	諫早市	0.42	10	諫早市	0.41	10	合志市	0.43

全国 2021年 **12**位 2020年 **13**位 2019年 **13**位

(単位：兆円)

2021年			2020年			2019年		
順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等
1	豊田市	14.98	1	豊田市	14.71	1	豊田市	15.17
2	倉敷市	4.62	2	市原市	3.97	2	川崎市	4.08
3	市原市	4.25	3	堺市	3.55	3	市原市	4.07
4	堺市	4.23	4	大阪市	3.53	4	横浜市	3.93
5	横浜市	4.15	5	横浜市	3.52	5	倉敷市	3.88
6	大阪市	4.08	6	倉敷市	3.47	6	大阪市	3.57
7	川崎市	3.96	7	神戸市	3.41	7	堺市	3.48
8	神戸市	3.42	8	川崎市	3.40	8	神戸市	3.42
9	東京特別区	3.41	9	東京特別区	3.00	9	名古屋市	3.30
10	名古屋市	3.36	10	名古屋市	2.99	10	広島市	3.10
11	四日市市	3.18	11	四日市市	2.87	11	太田市	2.99
12	大分市	3.18	12	広島市	2.80	12	東京特別区	2.93
13	広島市	2.78	13	大分市	2.34	13	大分市	2.77
14	北九州市	2.63	14	太田市	2.27	14	四日市市	2.76
15	京都市	2.62	15	京都市	2.14	15	岡崎市	2.58

地域経済の活性化と持続可能なまちづくり

◆着地型観光推進事業

アフターコロナ及び福岡・大分デスティネーションキャンペーンなどを見据えた取組として、**工場夜景クルーズ**のモニターツアーの実施(R5.11~12)や**日本100名城**に選定されている**大分府内城の御城印**を作製・販売

※参考：福岡・大分デスティネーションキャンペーン(R6.4~6)、北部九州総体2024(R6.7~8)、全国豊かな海づくり大会(R6.11.10)



◆ワーケーション推進事業

本市の**ビジネス客の来訪が多い**といった特性と**温泉や食**などの観光資源を活かし、**ワーケーション**を推進することで、出張者等の**新たな観光ニーズをキャッチ**

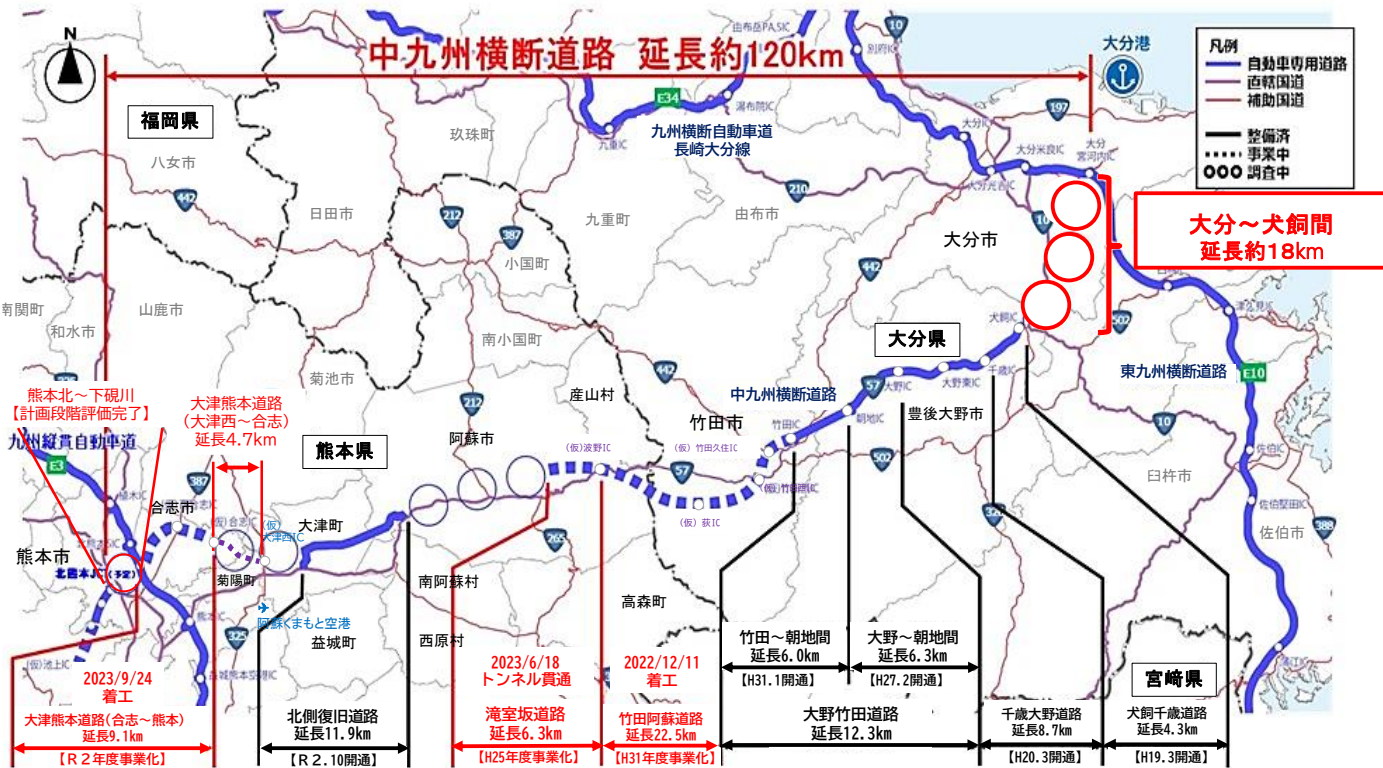
※ワーケーション…ワーク(仕事)とバケーション(休暇)を組み合わせた造語で、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、休暇も楽しむこと。

※割愛

地域経済の活性化と持続可能なまちづくり

◆中九州横断道路の整備の推進

大分県内沿線3市(竹田市・豊後大野市・大分市)と大分県がバトンをつなぎ、中九州横断道路の**早期全線開通**をめざし、**リレーシンポジウムを開催** ※【開催日】令和5年11月17日 【場所】コンパルホール 【来場者数】250人



ひとを元気に

文化・芸術の振興と新たな魅力の創出

◆アーバンフェスタ開催事業

新たな魅力の創出として、若者を惹きつけるスケートボードやBMX、ダンスなどのアーバンスポーツが体験できるイベント「OITA URBAN SPORTS FES 2023」を開催

※【開催日】令和5年10月8、9日【場所】お部屋ラボ 祝祭の広場【来場者数】3,200人



◆アーティストバンク推進事業

文化・芸術活動を行う団体や個人とその発表の場をつなぐ専用ウェブサイト「POART」(R6.1.25開設)や、モデルイベント「アートカフェ2024」(R6.2月開催)などを通じて、市民が多彩な文化・芸術に触れる機会の充実を図る



◆おおいた物産・食・観光魅力発信事業

大都市圏での観光物産展の開催やイベント等へ出展するとともに、観光大使の活用やMICEの誘致のほか、道の駅「たのうらら」(令和6年度運用開始予定)に関するイベント等を実施



文化・芸術の振興と新たな魅力の創出

◆道の駅「たのうらら」の整備

西部海岸地区の魅力さをさらに高め、観光客の増加などの**新たな活力を呼び込むための道の駅「たのうらら」を整備**し、観光における**大分の玄関口**として**賑わいの創出**と**周遊の促進**を図る



※割愛

大分市の**未来**に向けて

オール市民でまちを創る

one team ITA

ワンチーム
おおいた

ご清聴ありがとうございました